

DERWENT- 1997-072650

ACC-NO:

DERWENT- 199707

WEEK:

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Vehicle tyres for cars and motorcycles - have grooves coated with fluorescent paint to improve safety

PATENT-ASSIGNEE: SASAKI Y[SASAI]

PRIORITY-DATA: 1995JP-0152505 (May 26, 1995)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 08318715	A December 3, 1996	N/A	004	B60C 013/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 08318715A	N/A	1995JP-0152505	May 26, 1995

INT-CL (IPC): B60C011/00, B60C013/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 08318715A

BASIC-ABSTRACT:

In a vehicle's tyre, the grooves formed in its surface are coated with fluorescent paint.

For the groove, its bottom and both side faces are coloured; for the side wall, the paint is applied in a circular form. Given as the method of applying fluorescent paint to the grooves (2) and side faces of the tyre (1), are application, baking finish, bonding, and prodn. of the tyre by mixing the fluorescent paint previously with the tyre material.

USE - Used in cars and motorcycles.

ADVANTAGE - Prevents traffic accidents and improves driving safety.

CHOSEN- Dwg.1/5

DRAWING:

TITLE-TERMS: VEHICLE TYRE CAR MOTORCYCLE GROOVE COATING FLUORESCENT
PAINT IMPROVE SAFETY

DERWENT-CLASS: A95 Q11

CPI-CODES: A12-T01B;

ENHANCED- Polymer Index [1.1] 018 ; H0124*R

POLYMER-

INDEXING: Polymer Index [1.2] 018 ; N9999 N7090 N7034 N7023 ;
B9999 B5447 B5414 B5403 B5276

Polymer Index [1.3] 018 ; K9676*R ; K9574 K9483 ;
Q9999 Q9256*R Q9212 ; Q9999 Q9234 Q9212 ; K9905 ;
ND01 ; N9999 N7147 N7034 N7023

Polymer Index [2.1] 018 ; P0000

Polymer Index [2.2] 018 ; Q9999 Q7158*R Q7114 ; K9712
K9676 ; B9999 B4308 B4240

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1997-023424

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1997-060278

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-318715

(43) 公開日 平成8年(1996)12月3日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 0 C 13/00		7504-3B	B 6 0 C 13/00	Z
11/00		7504-3B	11/00	Z

審査請求 有 請求項の数 7 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平7-152505

(22) 出願日 平成7年(1995)5月26日

(71) 出願人 595088595

佐々木 嘉雄

奈良県奈良市南紀寺町四丁目7番地の15

(72) 発明者 佐々木 嘉雄

奈良県奈良市南紀寺町四丁目7番地の15

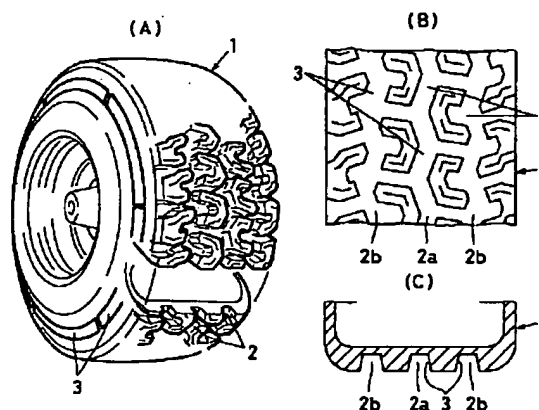
(74) 代理人 弁理士 和田 昭

(54) 【発明の名称】 自動車等のタイヤ

(57) 【要約】

【目的】 夜間と昼間の何れも目につきやすく追突事故を有効に防止できる自動車等のタイヤを提供することにある。

【構成】 タイヤ1の周囲溝部2及び側面に蛍光塗料の着色3を施すことにより、着色3の色彩及び発光により、目につきやすくなり、車両運転者に注意を促し、追突等の事故を未然に防止する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 タイヤの周囲に形成された溝部に蛍光塗料の着色を施した自動車等のタイヤ。

【請求項2】 タイヤの側面に蛍光塗料の着色を施した自動車等のタイヤ。

【請求項3】 タイヤの周囲に形成された溝部とタイヤの側面に蛍光塗料の着色を施した自動車等のタイヤ。

【請求項4】 蛍光塗料による着色がタイヤの周方向に所定の間隔で異色に施されている請求項1乃至3の何れかに記載の自動車等のタイヤ。

【請求項5】 タイヤの周囲に設けられた複数の溝部に異色の蛍光塗料で着色を施した自動車等のタイヤ。

【請求項6】 複数の溝部の少なくとも1つがタイヤの周方向に所定の間隔で異色に施されている請求項5記載の自動車等のタイヤ。

【請求項7】 蛍光塗料による着色が、塗布、焼付け塗布、貼付け、ネジ止め等もしくはタイヤ形成材料に予め混練するか何れかによって施されている請求項1乃至6の何れかに記載の自動車等のタイヤ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、自動車や自動二輪車に用いるタイヤ、更に詳しくは、車両運転時の安全性を向上させることができると共に、ファッション性にも優れたタイヤに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、自動車のタイヤは、走行時の安全性や乗り心地を向上させるために改善はなされているが、その多くはゴム材料そのままの黒色で目立たないものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記のように、従来のタイヤは、黒色でファッション性に欠けると共に、走行に関連する以外に機能がない。

【0004】そこで、この発明の課題は、走行時や停車中に目につきやすく、運転者に注意を促すことにより、追突等の事故を防止することができ、安全性の向上が図れると共に、ファッション性にも優れた自動車等のタイヤを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記のような課題を解決するため、第1の発明は、タイヤの周囲に形成された溝部に蛍光塗料の着色を施した構成を採用したものである。

【0006】第2の発明は、タイヤの側面に蛍光塗料の着色を施した構成を採用したものである。

【0007】第3の発明は、タイヤの周囲に形成された溝部とタイヤの側面に蛍光塗料の着色を施した構成を採用したものである。

【0008】第4の発明は、蛍光塗料による着色がタイ

ヤの周方向に所定の間隔で異色に施されている構成を採用したものである。

【0009】第5の発明は、タイヤの周囲に設けられた複数の溝部に異色の蛍光塗料で着色を施した構成を採用したものである。

【0010】第6の発明は、複数の溝部の少なくとも1つがタイヤの周方向に所定の間隔で異色に施されている構成を採用したものである。

【0011】第7の発明は、蛍光塗料による着色が、塗布、焼付け塗布、貼付け、ネジ止め等もしくはタイヤ形成材料に予め混練するか何れかによって施されている構成を採用したものである。

【0012】

【作用】タイヤに施した蛍光塗料による着色は、停車時や走行中でも光によって目につき、停車中や前後走行車の確認が行なえ、追突事故の発生を防止することができる。

【0013】また、タイヤに施した着色により、カラフルでファッション性の向上が図れる。

【0014】

【実施例】以下、この発明の実施例を添付図面に基づいて説明する。

【0015】図1(A)乃至(C)と図2(A)、

(B)に示すように、タイヤ1は周囲のパターンに複数の溝部2が形成され、この溝部2とタイヤ1の側面とに蛍光塗料(夜光塗料)による着色3が施されている。

【0016】上記蛍光塗料の着色3を施す溝部2及び側面は、タイヤ1の非摩耗部分であり、着色3はタイヤ1と異なる色彩が採用され、蛍光塗料による着色3は、夜間の発光により、走行中と停車中の何れにおいてもタイヤ1を目につきやすくし、車両の有無の確認を確実にする。

【0017】前記溝部2に対する着色3は、図1(C)及び図2(B)の断面図で示すように、溝部2の底面と両側面に施すと共に、側面の着色3は図1(A)のように、周方向に帯状でタイヤ1と同軸心の円形に施す。

【0018】上記溝部2と側面に施した着色3は、全周にわたって全て同色の色彩にしてもよいが、各溝部2に施す着色3を異色としたり、タイヤ1の周方向に沿って所定の間隔で異色としたり、これらの組み合わせを選択することができる。

【0019】図3と図4は、中央溝部2aの着色3を全長にわたって銀色等の単色とすると共に、両側の溝部2a、2bと側面の着色を、周方向に所定の間隔で異色とした組み合わせの例を示し、周方向に異色とする場合、図3(A)、(B)の如く、少なくとも2分割以上であればよく、図4(A)、(B)の場合、周方向に6分割し、2色を交互に施している。

【0020】周方向に異色とした場合の色彩の組み合わせは自由であるが、例えば、赤と白の配色にするとタイヤ

1の回転時にピンク色となり、黄と青の配色にすると回転時に黄みどりとなり、青と赤の配色にすると回転時に紫となる。

【0021】このように、色彩を組み合わせると、車両の停車時と走行時で色彩が変化し、車両の低速走行時は組み合わせた2色が明確になるのに対し、スピードが速くなれば2色の混合色に変化するため、色彩の変化によって車両のスピードを知ることができる。

【0022】前記タイヤ1の溝部2及び側面に、蛍光塗料による着色3を施す方法は、塗布、焼付け塗布、貼付けのほか、タイヤ形成材料に予め蛍光塗料を混練してタイヤ1を製造する等の手段によって行なうことができる。

【0023】なお、図示の場合、蛍光塗料の着色2は、タイヤ1の溝部2と側面の両方に施したが、側面は省き、溝部2だけに施すようにしてもよい。

【0024】この発明のタイヤは上記のような構成であり、タイヤ1の溝部2と側面に蛍光塗料による着色3を施すことにより、図5(A)、(B)の如く、自動車に装着すれば、着色3の発光もしくは反射光により、車両のタイヤ1が目につくことになり、例えば、夜間に道路際に停車した場合、後方から走行してきた車両の運転者は、着色3の光によって前方の停止車に気づくことになり、しかもタイヤ1からの光によって車幅の確認も容易となるので、停止車に対する追突や接触の事故を未然に防止することができる。

【0025】また、夜間の走行時や昼間のトンネル内の走行時において、タイヤ1の溝部2が発光するので、前方車両の存在が目につき、更に昼間の走行時においても、着色3の色彩により、タイヤ1の周面に生じる色彩の帯によって前方車両に対する目の集中力が増し、従って、前方車両に対する追突事故を防止し、安全性を向上させることができる。

【0026】また、溝部2に施す着色3を周方向に異色

の組み合わせで施すと、低速走行時に異色が明確になるのに対し、スピードが速ければ混合色になるので、色彩の変化により前方走行車のスピードを知ることができ、車間距離の確保が確実に行なえ、追突事故の防止が図れる。

【0027】また、タイヤ1は、溝部2及び側面に該タイヤの地色と異色の着色3を蛍光塗料によって施すことによってカラフルとなり、昼間と夜間の何れにおいても車両のファッション性を向上させることができる。

【0028】

【発明の効果】以上のように、この発明によると、タイヤの周囲溝部に蛍光塗料での着色を施したので、着色による色彩と発光によりタイヤが目につきやすくなり、運転者に注意を促し、前方車両の確認が確実に行なえ、追突事故を未然に防止し、車両運転の安全性を向上させることができる。

【0029】また、着色によりタイヤがカラフルになり、車両のファッション性を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】(A)はこの発明に係るタイヤの斜視図、(B)は同上の周面パターンを示す平面図、(C)は同上の断面図。

【図2】(A)は、周面パターンの他の例を示す平面図、(B)は同上の断面図。

【図3】(A)は着色を周方向に2分割した場合の側面図、(B)は同上の展開図。

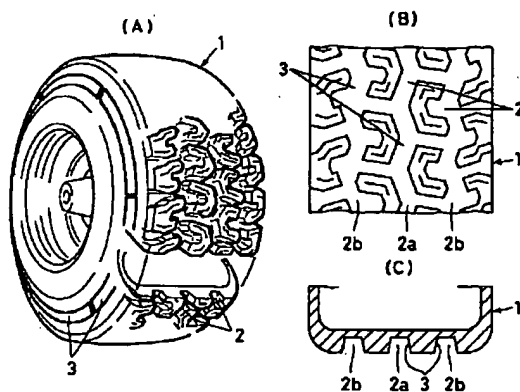
【図4】(A)は着色を周方向に6分割した場合の側面図、(B)は同上の展開図。

【図5】(A)はこの発明のタイヤを装着した自動車の正面図、(B)は同側面図。

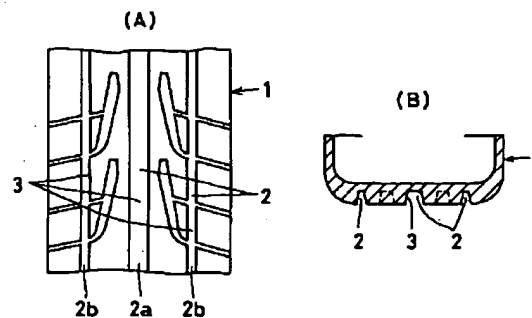
【符号の説明】

- 1 タイヤ
- 2 溝部
- 3 着色

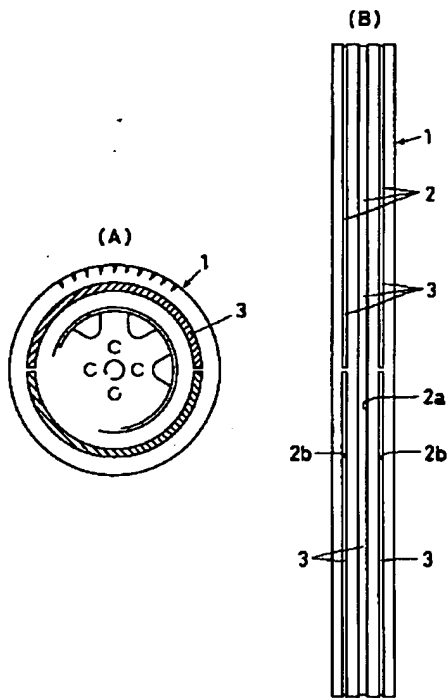
【図1】



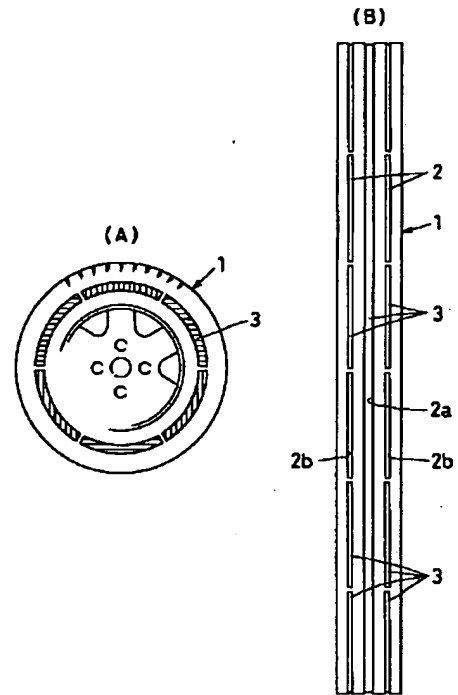
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

